

公共施設等総合管理計画第1期(H29~R8年度) 取組結果一覧表

令和5年3月31日時点

NO.	施設類型	施設名称等	主管課	耐用年数	代表施設建設年	計画策定時点（H28年度）の設備・運用における課題	短期方針（第1期）	中期方針（第2～3期）	長期方針（第4期以降）	計画策定時点（H28年度）の個別方針	第1期（H29～R8年度）のうち、H29～R4年度までの取組結果について	
											前期（H29～R3年度）	後期（R4年度）
1	①行政系施設	岡垣町役場	総務課	50	1969 (築54年)	・外壁の劣化・空調等設備の老朽化が進んでいる。	長寿命化		建替	◆築47年となり、外壁等の劣化・空調等設備の老朽化が見られることから、今後も予防保全型管理によって長寿命化を図ります。なお、将来的には、長寿命化後の庁舎新館の耐用年数の到来に合わせて、庁舎施設全体の建替えを予定するものとします。	・施設の長寿命化の方針等に沿って、以下の工事を実施 H29 外壁改修工事（庁舎本館） H30 防水改修工事及び外壁改修工事（庁舎新館） H31 間仕切壁設置等改修工事（庁舎本館） R2 空調設備改修工事（庁舎本館） R3 増築改修工事（庁舎本館）	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
2	①行政系施設	消防団車庫	地域づくり課	38	1999 (築24年)	・今後の人口減少を見据え、消防団のあり方を検討する必要がある。	長寿命化		建替	◆比較的健全な状態にありますが、築20年に差し掛かりつつあるため、順次、大規模改修を行いながら予防保全型管理による長寿命化を図ります。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
3	①行政系施設	消防団車庫（第1分団）	地域づくり課	38	1997 (築26年)	・今後の人口減少を見据え、消防団のあり方を検討する必要がある。	長寿命化	建替	長寿命化	◆比較的健全な状態にありますが、築20年に差し掛かりつつあるため、順次、大規模改修を行いながら予防保全型管理による長寿命化を図ります。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
4	①行政系施設	消防団車庫（第2分団）	地域づくり課	38	1998 (築25年)	・今後の人口減少を見据え、消防団のあり方を検討する必要がある。	長寿命化	建替	長寿命化	◆比較的健全な状態にありますが、築20年に差し掛かりつつあるため、順次、大規模改修を行いながら予防保全型管理による長寿命化を図ります。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
5	①行政系施設	消防団車庫（第3分団）	地域づくり課	38	2001 (築22年)	・今後の人口減少を見据え、消防団のあり方を検討する必要がある。	長寿命化		建替	◆比較的健全な状態にありますが、築20年に差し掛かりつつあるため、順次、大規模改修を行いながら予防保全型管理による長寿命化を図ります。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
6	①行政系施設	消防団車庫（第4分団）	地域づくり課	38	2001 (築22年)	・今後の人口減少を見据え、消防団のあり方を検討する必要がある。	長寿命化		建替	◆比較的健全な状態にありますが、築20年に差し掛かりつつあるため、順次、大規模改修を行いながら予防保全型管理による長寿命化を図ります。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
7	①行政系施設	消防団車庫（第5分団）	地域づくり課	38	2000 (築23年)	・今後の人口減少を見据え、消防団のあり方を検討する必要がある。	長寿命化		建替	◆比較的健全な状態にありますが、築20年に差し掛かりつつあるため、順次、大規模改修を行いながら予防保全型管理による長寿命化を図ります。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施

公共施設等総合管理計画第1期(H29~R8年度) 取組結果一覧表

令和5年3月31日時点

NO.	施設類型	施設名称等	主管課	耐用年数	代表施設建設年	計画策定時点（H28年度）の設備・運用における課題	短期方針（第1期）	中期方針（第2～3期）	長期方針（第4期以降）	計画策定時点（H28年度）の個別方針	第1期（H29～R8年度）のうち、H29～R4年度までの取組結果について	
											前期（H29～R3年度）	後期（R4年度）
8	①行政系施設	情報プラザ人の駅	デジタル推進課	50	2004 (築19年)	・16：00以降の研修室等の稼働率が低い。(9：00～16：00の稼働率25～42%に対し、16：00以降は20%未満)		長寿命化		◆公民館等の規模縮小への対応として、既存の貸館機能を維持しつつ、利活用の方策を検討します。 ◆築12年と新しい施設であり、予防保全型管理によって長寿命化を図ります。	・指定管理による施設・設備の適切な維持管理を実施 ・R2.3 東部出張所機能を東部公民館へ移設 ・R2.4 施設使用料を改定（増額）、指定管理2期目（5年間）の委託開始	・施設の利活用・収益増に向けた取組みの推進 ・利活用の内容により中規模の改修工事を実施 ・効率的な維持管理・運営を行うため、随時指定管理者と協議を実施
9	②社会教育系施設	中央公民館	生涯学習課	50	1972 (築51年)	・建物・設備等ともに老朽化が進んでいる。 ・会議室等の稼働率が低い。(施設全体で17%)	長寿命化	1館に統合	長寿命化	◆町立公民館は1館体制とします。校区コミュニティが利用する会議室等の機能については、吉木小学校の建替時期に校舎又は体育館に集約します。ただし、小中一貫校の導入等により、吉木小学校の建替えが行われない場合には、会議室等のみの新規建設を検討します。 ◆同時に、吉木区の自治公民館機能について、更新時点で協議を行います。	・日常点検等に基づく維持補修や修繕を実施 ・R3 空調設備の改修工事	・日常点検等に基づく維持補修や修繕を実施 ・R4 空調設備の改修工事
10	②社会教育系施設	東部公民館	生涯学習課	50	1974 (築49年)	・建物・設備等ともに老朽化が進んでいる。 ・一部の会議室の稼働率が低い。(施設全体で22%であるが、12%前後の会議室も存在する。)	長寿命化	1館に統合	長寿命化	◆町立公民館は1館体制とします。公民館事業等を実施する町立公民館として、適正規模に縮小した上で建替えを行います。建設場所については、今後検討します。なお、更新時において、現在は賃貸物件に入居している地域交流センター(※)機能の統合を検討します。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
11	②社会教育系施設	西部公民館	生涯学習課	50	1977 (築46年)	・建物・設備等ともに老朽化が進んでいる。 ・会議室等の稼働率が著しく低い。(施設全体で7%)	長寿命化	1館に統合	長寿命化	◆町立公民館は1館体制とします。校区コミュニティが利用する会議室や学童保育所の機能については、内浦小学校の建替時期に校舎または体育館に集約します。ただし、小学校の統廃合等により、内浦小学校の建替えが行われない場合には、会議室等のみの新規建設を検討します。 ◆同時に、内浦区の自治公民館機能について、更新時点で協議を行います。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
12	③保健・福祉施設	ふれあい宿泊施設若潮荘	生涯学習課 長寿あんしん課	50	1973 (50年)	・建物・設備等ともに老朽化が進んでおり、特に入浴施設に関する設備の老朽化が進んでいる。 ・青少年の宿泊が集中する時期を除き、利用者が1日平均10名程度であり、利用率が著しく低い状況である。 ・国の要綱に従い、原則無料での運営を行っているため、公民館利用団体との不均衡が生じている。	用途変更・民間移譲			◆入浴施設については、早期に供用を廃止します。その際には、いこいの里入浴施設の利用料金の見直しを検討します。 ◆現在の老人憩いの家の機能は廃止し、青少年等の健全育成施設としての機能への転用を検討します。入浴施設については、基本的には廃止の方向で検討しますが、限定的な活用について経費等を踏まえた上で判断します。 ◆施設管理については、臨海荘と併せての管理が効率的であるため、管理委託または民間への移譲を検討します。	・H31.3 入浴施設の一般利用を廃止するとともに、多世代が利用できる施設に転用 ・R2.4 青少年健全育成施設機能の充実が求められることから、所管を教育委員会（生涯学習課）へ移管	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
13	③保健・福祉施設	臨海荘	おかがきPR課	24	1979 (築44年)	・平成28年に改装したが、耐用年数を経過している。 ・近隣に類似した民間施設が多い。	民間移譲			◆近隣に民間の類似施設が多く点在していることから、若潮荘と併せて民間への移譲を検討します。	・R1.6 指定管理を取消、その後公募するも応募なし ・R2.3 岡垣町観光施設臨海荘設置条例を廃止 ・R2.5 施設の解体撤去を実施	・R4.6 事業者募集開始（土地の貸付） ・R4.7 岡垣町町有財産（臨海荘跡地）貸付事業者選考審査委員会を開催し、貸付事業者を決定 ・R4.9 貸付開始し、R5.3までに事業者が施設整備予定

公共施設等総合管理計画第1期(H29~R8年度) 取組結果一覧表

令和5年3月31日時点

NO.	施設類型	施設名称等	主管課	耐用年数	代表施設建設年	計画策定時点（H28年度）の設備・運用における課題	短期方針（第1期）	中期方針（第2～3期）	長期方針（第4期以降）	計画策定時点（H28年度）の個別方針	第1期（H29～R8年度）のうち、H29～R4年度までの取組結果について	
											前期（H29～R3年度）	後期（R4年度）
14	③保健・福祉施設	憩の家乳垂荘	長寿あんしん課	50	1980 (築43年)	・建物・設備等ともに老朽化が進んでおり、特に入浴施設に関する設備の老朽化が進んでいる。 ・将棋愛好団体が定期的に利用しているが、1日平均の利用者は40名程度である。 ・国の要綱に従い、原則無料での運営を行っているため、公民館利用団体との不均衡が生じている。	用途廃止			◆入浴施設については、早期に供用を廃止します。その際には、いこいの里入浴施設の利用料金の見直しを検討します。 ◆施設については、いこいの里に同様の機能があるため、一定程度の期間を経ての廃止を検討します。	・H31.3 入浴施設を廃止するとともに、多世代が利用できる施設へ転用 ・廃止に向けた手法（代替の活動場所の検証）・スケジュール・廃止時期についての検討を実施	・R4 利用団体ヒアリング、住民説明会を開催 ・R5.3 岡垣町憩の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例を制定（R7.4.1施行）
15	③保健・福祉施設	身体障害者福祉施設集いの家	福祉課	30	1985 (築38年)	・耐用年数を経過しており、老朽化が著しい。	集約化（いこいの里）			◆耐用年数をすでに経過しているため、いこいの里への集約化、もしくは、当分の間、乳垂荘への機能の集約化を図ります。	・障害者団体等の活動場所をいこいの里等に移動（改修工事を実施） ・R2.3 集いの家施設の解体工事完了	・用途廃止済
16	③保健・福祉施設	憩の家ことぶき荘	長寿あんしん課	50	1992 (築31年)	・建物・設備等ともに老朽化が進んでおり、特に入浴施設に関する設備の老朽化が進んでいる。 ・定期的に利用している団体もあるが、1日平均の利用者は25名程度である。 ・国の要綱に従い、原則無料での運営を行っているため、公民館利用団体との不均衡が生じている。	用途廃止			◆入浴施設については、早期に供用を廃止します。その際には、いこいの里入浴施設の利用料金の見直しを検討します。 ◆施設については、いこいの里に同様の機能があるため、一定程度の期間を経ての廃止、もしくは近隣自治体の自治公民館としての移譲を検討します。	・H31.3 入浴施設を廃止するとともに、多世代が利用できる施設へ転用 ・廃止に向けた手法（代替の活動場所の検証）・スケジュール・廃止時期についての検討を実施	・R4 利用団体ヒアリング、住民説明会を開催 ・R5.3 岡垣町憩の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例を制定（R7.4.1施行）
17	③保健・福祉施設	総合福祉保健センターいこいの里	福祉課	50	1997 (築26年)	・17：00以降の研修室等の稼働率が低い。（9：00～17：00の稼働率20～40％に対し、17：00以降は10％未満。特にギャラリーの稼働率は、1日平均10％で著しく低い。）		長寿命化		◆本町の保健・福祉の拠点施設としての機能に加え、福祉避難所にも指定しているため、計画的に長寿命化を図り、施設を維持します。 ◆身体障害者福祉施設集いの家や、老人憩の家が持つ機能の集約を検討します。 ◆利用率の低いギャラリーの有効活用について検討します。	・H29～30 計画的に長寿命化を図り施設を維持するため、いこいの里空調設備の改修工事を実施 ・R1 利用率の低いギャラリーを活用し、身体障害者福祉施設集いの家の機能を集約	・R4 バイオマスボイラー防音工事 ・R4 地域交流センターに設置していたボランティアセンターをいこいの里に移設
18	④市民文化系施設	岡垣サンリーアイ	生涯学習課	50	1993 (築30年)	・年間経費として、町が2億5千万円程度を負担しており、町内者・町外者の区分による利用料や優遇措置等を検討する必要がある。		長寿命化		◆岡垣サンリーアイは2010年に大規模改修を行っており、施設面における大きな課題はありません。計画的に長寿命化を図り、施設の維持を行います。 ◆また、魅力を向上させるため、図書館の充実など、施設の機能強化を検討します。 ◆現在、区分されていない町内者・町外者の利用料や、町内者への優遇措置等についても検討します。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施 ・R2.4 適切な受益者負担を求めため施設使用料を改定（増額） ・R3.4 電子図書館の導入	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施 ・R4 寄附金等を活用し、こども広場のリニューアルを実施
19	⑤学校教育系施設	吉木小学校	教育総務課	50	1966 (築57年)	・児童数が今後の5～6年でわずかに減少する見込み。	長寿命化	建替	長寿命化	◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、更新時には将来の児童数を考慮し、規模の縮小を検討します。	・安全で快適な教育環境を整えるため、以下の工事を実施 H30 特別教室棟、体育館、屋外トイレ改修工事 R1 空調設置工事 R3 プレハブ教室購入（リース⇒購入）	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施

公共施設等総合管理計画第1期(H29~R8年度) 取組結果一覧表

令和5年3月31日時点

NO.	施設類型	施設名称等	主管課	耐用年数	代表施設建設年	計画策定時点（H28年度）の設備・運用における課題	短期方針（第1期）	中期方針（第2～3期）	長期方針（第4期以降）	計画策定時点（H28年度）の個別方針	第1期（H29～R8年度）のうち、H29～R4年度までの取組結果について	
											前期（H29～R3年度）	後期（R4年度）
20	⑤学校教育系施設	内浦小学校	教育総務課	50	1965 (築58年)	・児童数の減少が進んでおり、今後も減少する見込み。 ・現時点で、平成32年度に全学年で児童数が10名を下回り、平成34年度に2・3年生が複式学級の編成基準(1年生を除き、連続する2学年で16名以下)に達する見込み。	長寿命化	建替	長寿命化	◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、更新時には将来の児童数を考慮し、規模の縮小を検討します。 ◆小学校を存続させるため、子育て世代の定住促進策などの実施や、特別転入学制度の導入など、児童数の増加に向けた対策を検討します。	・H30 児童増加に向けた対策として特認校制度を導入 ・安全で快適な教育環境を整えるため、以下の工事を実施 H29 トイレ改修工事 R1 空調設置工事 R2 耐震ブレース塗装工事 R3 プール更衣室更新工事	・施設の長寿命化等を目的に、以下の工事を実施 R4 体育倉庫改修工事 外壁打診調査及び修繕
21	⑤学校教育系施設	戸切小学校	教育総務課	50	1968 (築55年)	・今後も児童数が減少する見込みであるが、平成34年度までの推計では、複式学級の編成対象とはならない見込み。	長寿命化	建替	長寿命化	◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、更新時には将来の児童数を考慮し、規模の縮小を検討します。 ◆小学校を存続させるため、子育て世代の定住促進策の実施など、児童数の増加に向けた対策を検討します。	・安全で快適な教育環境を整えるため、以下の工事を実施 H29 トイレ改修工事 R1 空調設置工事 R2 プール改修工事 R3 外壁改修工事	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
22	⑤学校教育系施設	山田小学校	教育総務課	50	2001 (築22年)	・児童数のピークは過ぎている状況であるが、ピーク時にプレハブ教室を設置(6教室分)しており、撤去を検討する必要がある。	長寿命化			◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、更新時には将来の児童数を考慮し、規模の縮小を検討します。	・安全で快適な教育環境を整えるため、以下の工事を実施 R1 空調設置工事 R2 体育館外壁改修工事、屋内運動場内トイレ改修工事	・施設の長寿命化等を目的に、以下の工事を実施 R4 体育館屋上防水更新工事
23	⑤学校教育系施設	海老津小学校	教育総務課	50	1977 (築46年)	・校区内に住宅団地が造成されており、教室数の不足が懸念されている。	長寿命化		建替	◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、更新時には将来の児童数を考慮し、規模の縮小を検討します。	・安全で快適な教育環境を整えるため、以下の工事を実施 H29 トイレ改修工事 R1 空調設置工事 R3 パソコン教室改修工事 自動火災報知受信機更新工事	・施設の長寿命化等を目的に、以下の工事を実施 R4 受電設備トランス更新工事
24	⑤学校教育系施設	岡垣中学校	教育総務課	50	1961 (築62年)	・築50年を経過しており、老朽化している。 ・生徒数は、海老津小学校の児童数の増加に伴い、しばらくは増加する見込み。	長寿命化	建替	長寿命化	◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、更新時には将来の生徒数を考慮し、規模の縮小を検討します。 ◆将来的に岡垣中学校との統合、もしくは小中一貫校の導入の可能性もあるため、更新時期に検討します。	・安全で快適な教育環境を整えるため、以下の工事を実施 H29 プール改修工事 H30 空調設置工事（普通教室） R1 空調設置工事（特別教室）	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
25	⑤学校教育系施設	岡垣東中学校	教育総務課	50	1981 (築42年)	・生徒数のピークは過ぎている状況であるが、ピーク時にプレハブ教室を設置(2教室分)しており、撤去を検討する必要がある。	長寿命化		建替	◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、更新時には将来の生徒数を考慮し、規模の縮小を検討します。 ◆将来的に岡垣中学校との統合、もしくは小中一貫校の導入の可能性もあるため、更新時期に検討します。	・安全で快適な教育環境を整えるため、以下の工事を実施 H29 体育館内部改修工事 R1 空調設置工事 R2 プール改修工事 R3 トイレ改修工事	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
26	⑥子育て支援施設	中部保育所	こども未来課	50	1975 (築48年)	・保育所運営経費は地方交付税の基準財政需要額に算入されているものの、高額な運営経費を要している。	長寿命化	民間移譲		◆築41年を経過し施設が老朽化しており、民間保育所が増加している状況からも、民間への移譲を検討します。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施 ・R2 空調設備の更新工事	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕の実施

公共施設等総合管理計画第1期(H29~R8年度) 取組結果一覧表

令和5年3月31日時点

NO.	施設類型	施設名称等	主管課	耐用年数	代表施設建設年	計画策定時点（H28年度）の設備・運用における課題	短期方針（第1期）	中期方針（第2～3期）	長期方針（第4期以降）	計画策定時点（H28年度）の個別方針	第1期（H29～R8年度）のうち、H29～R4年度までの取組結果について	
											前期（H29～R3年度）	後期（R4年度）
27	⑥子育て支援施設	吉木学童保育所	こども未来課	24	2000 (築23年)	・学童保育のニーズが高まっており、施設の不足が懸念されている。	長寿命化	集約化 (吉木小)		◆現時点で施設面での大きな課題はありませんが、吉木小学校更新時に、校舎又は体育館への集約化を図ります。	・H30 施設長寿命化のため、屋外塗装工事を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
28	⑥子育て支援施設	海老津学童保育所	こども未来課	38	2003 (築20年)	・現在、リース物件により第2学童保育所を増設しているが、学童保育のニーズが高まっており、今後も施設の不足が懸念されている。	長寿命化		集約化 (海老津小)	◆現時点で施設面での大きな課題はありませんが、海老津小学校更新時に、校舎又は体育館への集約化を図ります。	・特になし	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
29	⑥子育て支援施設	戸切学童保育所	こども未来課	38	2002 (築21年)	・学童保育のニーズが高まっており、施設の不足が懸念されている。	長寿命化	集約化 (戸切小)		◆現時点で施設面での大きな課題はありませんが、戸切小学校更新時に、校舎又は体育館への集約化を図ります。	・H29年 長寿命化のため外壁支柱の一部塗替えを実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
30	⑥子育て支援施設	こども未来館	子育てあんしん課	24	2003 (築20年)	・子育て支援の拠点機能を發揮しており、利用者も多く、大きな課題はない。	長寿命化	建替	長寿命化	◆子育て支援の拠点機能を發揮しており、適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、耐用年数経過時に更新します。	・施設の長寿命化の方針等に沿って、以下の工事を実施 H30 館内照明LED化改修工事及び外壁改修工事(窓枠シール盛替え) R3 館内男女トイレ・医務室手洗い器具自動水栓改修工事	・施設の長寿命化等を目的に、以下の工事を実施 R4 白蟻防除施工実施
31	⑦公営住宅	町営住宅三吉団地	都市建設課	41	1967	・別途策定済の長寿命化計画により順次建替えを実施しており、大きな課題はない。	建替 (統合)	長寿命化		◆町営住宅長寿命化計画に沿って、浦頭団地・第2浦頭団地を廃止し、三吉団地に統合します。	・R1 既存の町営住宅の解体が全て完了 ・R1 R C4階建24戸の完成	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
32	⑦公営住宅	町営住宅浦頭団地	都市建設課	41	1975	・別途策定済の長寿命化計画により順次建替えを実施しており、大きな課題はない。(三吉団地に統合予定)	用途廃止 (三吉団地に統合)			◆用途を廃止し、三吉団地に統合します。	・浦頭団地入居者の移転後、R2年度に解体	・用途廃止済
33	⑦公営住宅	町営住宅第二浦頭団地	都市建設課	41	1976	・別途策定済の長寿命化計画により順次建替えを実施しており、大きな課題はない。(三吉団地に統合予定)	用途廃止 (三吉団地に統合)			◆用途を廃止し、三吉団地に統合します。	・第2浦頭団地入居者の移転後、R2年度に解体	・用途廃止済

公共施設等総合管理計画第1期(H29~R8年度) 取組結果一覧表

令和5年3月31日時点

NO.	施設類型	施設名称等	主管課	耐用年数	代表施設建設年	計画策定時点（H28年度）の設備・運用における課題	短期方針（第1期）	中期方針（第2～3期）	長期方針（第4期以降）	計画策定時点（H28年度）の個別方針	第1期（H29～R8年度）のうち、H29～R4年度までの取組結果について	
											前期（H29～R3年度）	後期（R4年度）
34	⑦公営住宅	町営住宅龍王団地	都市建設課	41	1972 (築51年)	・入居者を募集しても、応募がない状況がある。	長寿命化	建替・用途廃止	長寿命化	◆入居者を募集しても応募がない状況があるため、町営住宅としての必要戸数を整理するとともに、建替えを行う場合には、利便性等を考慮して、JR海老津駅南側地区への建設を検討します。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施 ・中長期的な町営住宅の必要戸数や耐用年数超過に伴う建替え計画等についての方向性を検証	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施 ・R5.3 第2次岡垣町町営住宅長寿命化計画を策定
35	⑦公営住宅	町営住宅海老津団地	都市建設課	50	2004 (築19年)	・比較的新しい建物であるため、大きな課題はない。	長寿命化			◆予防保全型管理により、長寿命化を図ります。 ◆更新の必要性については、耐用年数到来時点で検討します。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
36	⑧スポーツ・レクリエーション系施設	町民体育館	生涯学習課	50	1976 (築47年)	・老朽化しているため、定期的な改修を実施している。 ・利用率は高く、大きな課題はない。	長寿命化		統合 (町民武道館)	◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、町民武道館の更新時期に合わせて、町民武道館との統合を検討します。	・日常点検等に基づく維持補修や修繕を実施	・施設の長寿命化等を目的に、以下の工事を実施 R4 屋根及び外壁の大規模改修工事
37	⑧スポーツ・レクリエーション系施設	町民武道館	生涯学習課	50	1984 (築39年)	・老朽化しているため、定期的な改修を実施している。 ・利用率は高く、大きな課題はない。	長寿命化		統合 (町民体育館)	◆適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、更新時には、町民体育館との統合を検討します。 ◆更新時には、人口減少を考慮し、体育館と剣道場の併用などによる規模の縮小を検討します。	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施 ・R1 屋根の改修工事を実施	・日常点検等に基づく施設の維持補修や修繕を実施
38	⑧スポーツ・レクリエーション系施設	戸切周辺地域スポーツ広場	生涯学習課	24	2003 (築20年)	・地域での利用が中心であり、大きな課題はない。	校区コミュニティへの移譲			◆校区コミュニティ等への移譲を検討します。	・施設移譲に向けた関係者との協議を実施	・施設の今後の方向性について検討
39	⑧スポーツ・レクリエーション系施設	岡垣町観光ステーション北斗七星	おかがきPR課	24	2014 (築9年)	・夏季以外の施設の利用率が低く、施設の有効活用の手法を検討する必要がある。	長寿命化	建替	長寿命化	◆築3年と新しい施設であり、適切な維持管理による長寿命化を図ります。 ◆施設の利用率が低く、コスト高となっているため、使用料のあり方や施設の運用改善など、利用促進に向けた検討を早期に行います。	・中西部の観光活性化構想を策定し、民間事業者と連携した観光情報発信拠点機能を強化 ・長寿命化を図るため、外壁やシャワー等の改修を行うなど必要なメンテナンスを実施	・日常点検に基づく施設の維持補修や修繕を実施
40	⑨供給処理施設	浄水場	上下水道課	50	1966 (築57年)	・水道の安定供給のため、老朽化に対応しながら施設の維持を図る必要がある。	長寿命化	建替	長寿命化	◆水道の供給に必要不可欠な施設であるため、設備を含めて長寿命化を図りながら、施設の維持管理を行います。	・水道水の安定的な供給を維持するために下記3点を計画的に実施 ①非常用電源接続のための配電盤の設置 ②海老津配水池送水ポンプ3台を更新 ③水源井戸の計画的な洗浄工事及び取水ポンプの更新	・水道水の安定的な供給を維持するために下記3点を計画的に実施 ①浄水場電気設備（配電盤等）の更新 ②浄水場機械設備（ポンプ等）の更新 ③水源井戸等の計画的な洗浄工事及び取水ポンプの更新

公共施設等総合管理計画第1期(H29~R8年度) 取組結果一覧表

令和5年3月31日時点

NO.	施設類型	施設名称等	主管課	耐用年数	代表施設建設年	計画策定時点（H28年度）の設備・運用における課題	短期方針（第1期）	中期方針（第2～3期）	長期方針（第4期以降）	計画策定時点（H28年度）の個別方針	第1期（H29～R8年度）のうち、H29～R4年度までの取組結果について	
											前期（H29～R3年度）	後期（R4年度）
41	⑨供給処理施設	浄化センター	上下水道課	50	1989 (築34年)	・安定的な下水処理のため、老朽化に対応しながら施設の維持を図る必要がある。		長寿命化		◆下水道機能の維持に必要不可欠な施設であるため、設備を含めて長寿命化を図りながら、施設の維持管理を行います。 ◆今後の公共下水道の広域化について検討します。	・ストックマネジメント計画に基づき、水処理設備、電気設備、汚泥設備を改築更新 ・広域連携の可能性を検討し、単独処理の方針を決定 ・浄化センターのOD法新設及びし尿等共同処理の方針を決定	・設備機器の保守点検、分解整備を実施 ・下水道事業計画の変更
42	⑨供給処理施設	西部浄化センター	上下水道課	50	2001 (築22年)	・浄化センター同様の施設であるため、コスト面での負担が大きい。(浄化センターとの統合を検討)	用途廃止			◆農排及び漁排について公共下水道事業に統合し、用途を廃止することを検討します。 ◆その後の施設の利活用の方策について検討します。	・R1年度に公共下水道への接続工事が完了し、西部浄化センターを廃止 ・防災備蓄倉庫、農業用資器材倉庫として、施設の利活用を実施	・防災備蓄倉庫としての利用を変更し、埋蔵文化財保管庫としての利活用を実施
43	⑨供給処理施設	吉木中継ポンプ場	上下水道課	50	2004 (築19年)	・比較的新しい建物であるため、大きな課題はない。		長寿命化		◆下水道機能の維持に必要不可欠な施設であるため、設備を含めて長寿命化を図りながら、施設の維持管理を行います。	・設備機器の保守点検、分解整備を実施	・設備機器の保守点検、分解整備を実施
44	⑩その他	新松原第一排水機場	農林水産課	50	1992 (築31年)	・大きな課題はない。		長寿命化		◆災害防止に必要不可欠な施設であるため、設備を含めて長寿命化を図りながら、施設の維持管理を行います。	・管理組合による作動確認や町職員による出水期前の施設点検など、適切な維持管理を実施	・管理組合による作動確認や町職員による出水期前の施設点検など、緊急時の操作に不具合がでないよう適切な維持管理を実施
45	⑩その他	新松原第二排水機場	農林水産課	50	1992 (築31年)	・大きな課題はない。		長寿命化		◆災害防止に必要不可欠な施設であるため、設備を含めて長寿命化を図りながら、施設の維持管理を行います。	・管理組合による作動確認や町職員による出水期前の施設点検など、適切な維持管理を実施 ・R2から県営事業により機能保全事業に取り組んでいる（R2設計 R3ポンプ設備）	・管理組合による作動確認や町職員による出水期前の施設点検など、緊急時の操作に不具合がでないよう適切な維持管理を実施 ・R2～R5に県営事業により施設の長寿命化を図るため、機能保全事業に取り組んでいる（R4ポンプ設備）
46	⑩その他	東黒山排水機場	農林水産課	50	1997 (築26年)	・大きな課題はない。		長寿命化		◆災害防止に必要不可欠な施設であるため、設備を含めて長寿命化を図りながら、施設の維持管理を行います。	・管理組合による作動確認や町職員による出水期前の施設点検など、適切な維持管理を実施	・管理組合による作動確認や町職員による出水期前の施設点検など、緊急時の操作に不具合がでないよう適切な維持管理を実施
47	⑩その他	岡垣パーキング休憩施設	おかがきPR課	50	1996 (築27年)	・下り車線のみ利用に限定されており、利用が伸びない。(県道岡垣宗像線のバイパス工事に伴い、一旦撤去される予定)	建替・民間移譲	長寿命化		◆築20年と比較的新しい施設であるものの、福岡県において計画されている県道岡垣宗像線バイパス工事の施行箇所にかかるため、一旦は解体することとなります。(2030年頃の竣工予定) ◆現在の計画では、同程度の用地が確保される見通しであることから、施設の内容・民間の活用等の詳細について、早期に検討します。	・道路計画について、要望に沿った計画が進められているか福岡県との協議を適宜実施	・道路計画の進捗状況等を注視しながら、国及び福岡県との協議を実施